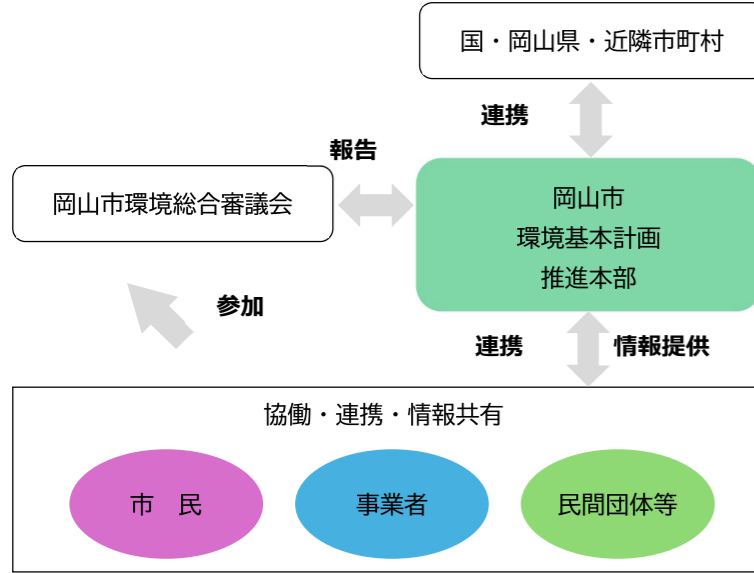


環境基本計画の推進について

- ▶市民（民間団体等を含む）・事業者・岡山市で協働・連携により推進していきます
- ▶計画・実行・評価・改善のPDCAサイクルを通じて、施策の進捗を適切に管理します。
- ▶令和12（2030）年度を中間年度とし、社会情勢の変化に合わせ、必要に応じて計画内容を柔軟に更新します。



環境分野	指標名	現状	中間目標(2030)
地球環境	温室効果ガス排出量（千t-CO <sub>2</sub> ）	6,564 (2013年度)	3,544 (46%削減)
	地球温暖化防止行動の実践度（%）	56.5 (2023年度)	65
循環型社会	市民1人1日当たりのごみ排出量（g）	713 (2024年度)	658
	ごみの資源化率（%）	35.9 (2024年度)	38.7
自然環境	自然共生サイトの認定地区数（箇所）	2 (2024年度)	10
	自然保護地域（身近な生きものの里・自然共生サイト）におけるシンボル種の確認率（%）	97 (2025年度)	100
都市・生活環境	大気・水質・土壌環境基準（SO <sub>2</sub> ,N <sub>2</sub> ,CO,SPM,BOD,ダイオキシン類）達成率（%）	100 (2024年度)	100
	公園・緑地の整備や緑化推進に対する市民満足度（%）	43.8 (2023年度)	-
環境教育・行動変容	環境学習プログラム参加者数（人）	52,713 (2024年度)	70,000
	岡山ESDプロジェクト参加団体数（団体）	397 (2024年度)	485

発行元・連絡先

岡山市環境局環境部環境保全課  
 TEL：086-803-1284 FAX：086-803-1887 E-mail：kankyouhozen@city.okayama.jp

# 第3次岡山市環境基本計画

## <概要版>

自然との調和を大切に 市民が中心となり  
 持続可能な未来をつむぐまち岡山



岡山市環境基本条例第8条に基づき、環境の保全に関する施策を総合的・計画的に推進するため、国の第六次環境基本計画、岡山市第七次総合計画等の見直しを踏まえて策定しました。

本計画は、社会情勢の大きな変化（脱炭素、サーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブの加速など）や、これまでの計画の進捗状況を踏まえ、持続可能な未来に向けた指針となる計画です。

- ▶対象地域：岡山市全域
- ▶計画期間：令和8(2026)年度～令和17(2035)年度
- ▶計画の対象：地球環境、循環型社会、自然環境、都市・生活環境、環境教育・協働

岡山市  
 令和8年3月

# <めざす環境像>

## 自然との調和を大切に 市民が中心となり 持続可能な未来をつむぐまち岡山

### 環境目標 1 地球環境



2050年ゼロカーボンシティをめざした脱炭素の取組により、環境負荷の少ない社会への転換が進んでいる

#### 基本目標 1-1 省エネ及び再エネ導入の推進

- 再生可能エネルギーの導入促進
- 省エネルギーの推進
- 市民・事業者の行動変容の促進
- 岡山市役所における率先行動

#### 基本目標 1-2 脱炭素型まちづくりの推進

- スマートムーブの推進
- 地域連携の推進
- 市民・事業者の行動変容の促進（再掲）
- 岡山市役所における率先行動（再掲）

#### 基本目標 1-3 気候変動適応策の推進

- 気候変動の影響への適応

### 環境目標 2 循環型社会



ごみの発生抑制と資源の循環利用が進み、循環型社会が実現している

#### 基本目標 2-1 サーキュラーエコノミーへの移行 (3R+ Renewable)

- リデュース（排出抑制）の促進
- リユース（再使用）の促進
- リサイクル（再生利用）の促進
- リニューアブル（再生可能な資源への代替）の促進
- 食品ロス削減の推進

#### 基本目標 2-2 廃棄物の適正な処理

- 安全・安心・安定的な処理体制の確保
- 廃棄物の適正処理の監視・指導

#### 基本目標 2-3 美しいまちづくりの推進

- 美しく、快適なまちづくりの推進
- 不法投棄対策の強化
- 海洋プラスチックごみ対策の推進

### 環境目標 3 自然環境



自然と共生する取組により、生物の多様性が地域の豊かさにつながっている

#### 基本目標 3-1 生きものが暮らす多様な環境の保全と創出、再生

- 生物多様性を育む水辺の保全、維持・強化
- 生物多様性を育む里地里山や緑地、農地の保全
- 野生生物の保護、生物多様性の回復・創出及び生態系ネットワークの形成
- 外来種対策の推進

#### 基本目標 3-2 自然を活用した地域づくり

- 自然環境の機能を活用したインフラ整備
- 持続可能な農林水産業及び有害鳥獣対策の推進
- 身近な自然にふれあえる地域づくり

#### 基本目標 3-3 生物多様性を育む人づくり・仕組みづくり

- 生物多様性の恵みを意識したライフスタイルへの転換促進
- 生物多様性についての学び、実践の促進
- 生物多様性に関わる拠点の構築及び様々な主体との連携の推進

### 環境目標 4 都市・生活環境



安全で快適なまちづくりにより、人々が暮らしに高い生活の質を実感している

#### 基本目標 4-1 安全で快適な生活環境を維持したまちづくり

- 公共用水域・地下水の水質の把握
- 工場・事業場等の発生源対策
- 生活排水対策の推進
- 自動車交通対策の推進
- 大気汚染の状況の把握及び対策の推進
- その他の生活環境保全の推進
- 有害物質による環境リスクの低減
- 節水と地下水かん養の推進
- 災害時の迅速・的確な環境保全対応

#### 基本目標 4-2 水と緑あふれる魅力ある空間づくり

- 市街地の緑化、緑地保全
- 岡山市や地域のシンボルとなる街路樹等の創出・育成
- 水辺や緑道のネットワーク化
- 快適な環境づくり

#### 基本目標 4-3 地域資源の活用と継承によるまちづくり

- 魅力ある都市景観の保全・形成
- 歴史的景観と文化遺産の保全・活用

### 環境目標 5 環境教育／行動変容

ESDの推進と創造的革新的な取組により、環境課題の解決が図られている



#### 基本目標 5-1 環境保全やESDに取り組む人材の育成

- 環境教育・環境学習の場と機会の提供
- ESD地域拠点事業の推進

#### 基本目標 5-2 多様な主体の連携（パートナーシップ）の促進

- 市民・事業者の自主的・積極的な取組への支援
- 市民・事業者・行政のパートナーシップの強化
- 各主体の自主的な取組を促進していくための情報提供

#### 基本目標 5-3 新たな手法を活用した環境保全の促進

- 市民や事業者に行動変容をもたらす制度の活用
- 企業や大学と連携した環境イノベーションの推進
- SDGsの達成にむけた取組の推進
- 優れた活動の顕彰

5つの環境目標と基本目標に示す施策の方向性に沿って脱炭素・循環型社会・自然共生を進め、2035年までに「めざす環境像」の実現につなげていきます。